

平成26年度の動植物等に係る保全措置、調査等の実施状況について

鳥取県東部広域行政管理組合では、環境影響評価書を受けて保全措置、モニタリング調査等を進めています。

平成26年度に実施した保全措置、モニタリング調査等の概要は表1に示すとおりです。

表1 平成26年度に実施した保全措置、モニタリング調査等の概要

項目		内容・結果
植物	貴重植物の移植及び移植後のモニタリング	<p>【内容】 ナツエビネ、コ克蘭の移植を行い、移植後のモニタリングを実施した。</p> <p>【結果】 ナツエビネ：2株移植し、100%活着した。 コ克蘭：68株移植し、92.6%活着した。</p>
	移植対象種分布調査	<p>【内容・結果】 水田跡地に水を引いた結果、平成25年度には確認されなかったミズマツバの生育を確認した。ミズマツバは約240株生育しているものと考えられた。</p>
	ホンゴウソウのモニタリング	<p>【内容】 重要種のうち移植が困難な種であるホンゴウソウについてモニタリング調査を実施した。</p> <p>【結果】 ホンゴウソウ：97株を確認した。生育状況に変化はないものと考えられた。</p>
動物・水生生物・生態系	フクロウのモニタリング	<p>【内容】 対象事業実施区域周辺に出現するフクロウの状況についてモニタリング調査を実施した。</p> <p>【結果】 平成26年繁殖期は幼鳥が確認され、対象事業実施区域の南西側エリア(対象事業実施区域外)で繁殖した可能性が考えられた。 平成27年2月は工業団地の造成が始まっており、今後フクロウの分布等の位置が変わる可能性が考えられた。</p>
	カスミサンショウウオ・イモリの仮移植	<p>【内容】 カスミサンショウウオ・イモリについて仮移植後のモニタリングを実施した。</p> <p>【結果】 カスミサンショウウオ： H26年6月まで幼生を確認した。 H27年2月、3月は仮移植箇所での成体、卵塊は確認されなかった。移植前の産卵箇所では、引き続き産卵が確認された。</p> <p>イモリ：仮移植箇所越冬中の成体を確認した。</p>



貴重植物の移植作業風景



移植後花期のナツエビネ



移植後結実したコ克蘭



水田跡地で確認されたミズマツバ



フクロウ夜間調査風景（鳴き声の確認）



カスミサンショウウオ仮移植地の状況



仮移植地で確認されたカスミサンショウウオ
(卵塊を移植後孵化した幼生)



仮移植地で確認されたイモリ